

平成28年3月定例会一般質問表

3. 3、4、7

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>1. 一般質問で提案した項目の具体化について 私は南陽市に住んで良かった、行ってみたいと思えるような誇りある南陽市をめざして※ロハスシティー南陽を唱え、一般質問の中で政策的な提案をしてきました。それらについて、これからの具体的な取り組みに関して市長にお伺いします。</p> <p>※ロハス:Lifestyles of Health and Sustainability 頭文字をとった略語で、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル「LOHAS」ロハスのこと。</p> <p>(1) 文化会館</p> <p>① 運営体制とサポーター組織づくり</p> <p>② プレミアムチケット（チケットと温泉宿泊券）の開発及びふるさと納税の返戻品として取扱い</p> <p>(2) 戦略的な観光</p> <p>① （仮称）南陽物語たとえば、龍、うさぎ、蜘蛛などを物語で結びつけることなど。</p> <p>② （仮称）菊と平和のカーニバル、ぶどうとワインと愛のカーニバル</p> <p>③ （仮称）平和の鐘の設置—赤湯駅</p> <p>④ 観光協会の充実</p> <p>(3) 白竜湖と十分一山</p> <p>① スカイスポーツのメッカとしての設備の充実</p> <p>② 白竜湖の復元とへらぶな釣りの宝庫へ</p> <p>(4) 健康と温泉とスポーツ</p> <p>① 温泉健康アドバイザー（温泉ソムリエ）の充実策</p>	市長 教育長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>② 新しい湯治一病院との連携による温泉療養人間ドッグ</p> <p>③ さわやかマラソン大会の抜本的な見直し策</p> <p>(5) 安全・安心な暮らしとボランティアの活用</p> <p>① お年寄りや障がい者が暮らしやすい生活支援策</p> <p>(6) 本市の嘱託職員や臨時職員の待遇改善</p> <p>① 一時金の支給</p> <p>2. 市制50年事業について 来年、平成29年は南陽市制50年に当たります。この50年を祝い記念の各種行事を企画すると思いますが、その体制整備とメイン事業について、市長のお考えをお伺いします。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	15 番 佐 藤 明 議 員	<p>1. 子どもの貧困対策と「南陽市子育て支援都市宣言」について</p> <p>(1) 貧困と格差がいつそう拡大している中で、貧困打開に真剣に向き合わない安倍政権の姿勢が浮きぼりになっています。社会問題になっている子どもの貧困についても、安倍政権の対策は一人親世帯への経済的支援の一部強化などにとどまり、根本的な打開対策を打ち出してはいません。3年前の国会では、生まれ育った環境で子どもの将来を左右させてはならないと「子どもの貧困対策法」が全会一致で成立しています。子どもの貧困解決へ国の責務などをうたった同法にてらしても安倍政権の姿勢はきわめて問題ありと言わざるをえません。親の失業や低収入、病気、離婚、死別など家庭の経済状況の悪化でもたらされる子どもの貧困は、日本では年々深刻になっております。国の貧困の実態を示す国際的な指標に「相対的貧困率」があります。可処分所得などをもとに、生活が支えられるぎりぎりの「貧困ライン」を計算し、それ以下の所得しかない人の割合を示す数値です。日本政府は2009年に初めて公式に相対的貧困率を発表しましたが、「子どもの貧困率」(2006年)は14.2%約7人に1人でした。当時、経済協力開発機構(OECD)諸国の中でも最悪水準に位置しているとして大問題となりました。その後も悪化傾向を続け、昨年発表された最新数値(2012年)では、子どもの貧困率は16.3%、約6人に1人へと拡大をしています。事態をここまで深刻化させた歴代政権の責任が改めて問われています。国民全体の貧困率そのものが悪化しており、貧困解決は社会全体の課題であることは当然ですが、貧困を次世代に連鎖させないという点で、子どもの貧困打開は待ったなしの課題として政治に迫られていることは明らかであります。貧困問題解決に取り組む市民らの運動を背景に、2013年に成立した「子どもの貧困対策法」は、事態打開の第一歩となる法律です。貧困の基本概念の定義をしていないなど不十分さはありますが、「貧困の状況にある子どもが健やかに育成される」環境整備や「教育の機会均等を図る」ことを目標に掲げ、子どもの貧困対策の総合的な策定、実施に対する国・地方自治体の責務などを明記しています。ところが安倍政権は、同法の具体化にすら真剣に取り組んでおりません。法律が政府に作成を義務付けた「対策大綱」の閣議決定(2014年)は大幅に遅れたうえ、その中身も実効性が乏しい従来型であります。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	15 番 佐 藤 明 議 員	<p>関係者が強く求めた貧困率削減の「数値目標」の設定はされず、世界の多くの国が採用している返済不要の「給付制奨学金」導入も見送られました。こんな後ろ向きの姿勢では、事態を打開することはできません。「一億総活躍社会」対策のなかで一人親世帯支援を盛り込みましたが、不十分な中身です。実効性ある「子どもの貧困対策」をつくるためにも「大綱」の見直し、再検討も必要であります。</p> <p>安倍政権は発足以来、子どもの多い世帯ほど打撃となる生活保護費削減などを強行してきました。労働者派遣法改悪などの雇用破壊は、親の低賃金・不安定雇用を加速させ、子どもの貧困を拡大させ逆行であります。貧困と格差を広げる安倍政治の大本を正し、国民の暮らしを最優先した経済政策への転換が、今こそ急がれています。南陽市の実態と状況はどうなっているのか。また、どのような対策を考えておられるのか市長の御見解を。</p> <p>(2) 県が2015年度、県内の一人親世帯を対象に行った調査では、母子家庭の81.9%、父子家庭の80.3%が「生活が苦しい」と回答しており、その対策費として新年度で約6,000万円を計上、一人親家庭に対する医療給付事業に約3億円の支援策を打ち出している。南陽市としてどのような支援策を考えておられるのか市長の御見解を。</p> <p>(3) 南陽市子育て支援都市宣言について</p> <p>① 「南陽市子育て支援都市宣言」が平成19年6月4日議決され丁度10年目を迎える中、どのように総括され、今後どのようにして子育て支援をされるのか。</p> <p>② 重点施策として5項目からなり、具体策は30事業となっておりますが、どの程度具現化（実現）されたのか。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
3	1 1 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>この全国一の名称を持つ「南陽の菊まつり」も南陽の宝とし守るべきものと思います。今後の方向性は。</p> <p>(3) 平和の尊さを伝えるために 子どもたちが平和について自ら考えることが必要な時代になっている。昭和63年に「南陽市非核平和都市宣言」がされてから、人類の恒久平和を願い、「平和の集い」の事業がなされてきていたがなくなっている。中学生が訪れ交流した糸満市は沖縄戦終焉の地で、平和への祈りを世界に発信している。南陽市でも平和の尊さを考えてもらうイベントなどを行うべきと考えるが市長のお考えは。</p>	市 長

